

## 山形大学校友会理事会（第22回）議事録

平成29年6月27日（火）

15時00分～16時20分

山形大学法人本部第1会議室

### （議題）

- 1 校友会副会長の選出について
- 2 校友会専門委員会委員の選出について
- 3 平成28年度事業報告、収支決算及び監査報告について
- 4 平成29年度事業計画及び収支予算について
- 5 校友会大学院学生表彰に関する申し合わせの一部改正及び表彰者の選考基準等について
- 6 校友会設立10周年記念「校友会のシンボルネーム又は愛称募集」事業の選考結果に伴う今後の対応について
- 7 各学部から選出された校友会「学生幹事」について
- 8 その他
  - (1) 平成29年度山形大学OB&OGセミナーの開催について
  - (2) 平成29年度校友会関係年間スケジュールについて
  - (3) その他

### （出席者）

- 会 長： 小山清人（議長）  
理 事： 坂上 満、佐藤圓治、推名正美、長谷部利信、渡部二雄（木村康二の代理）、  
山下英俊、松田友美、山崎洋一郎、齋藤博行、大場好弘、是川晴彦、  
竹田隆一、鶴浦 啓、山川光徳、小笠原宣好、成田博昭  
監 事： 内田勝男、丸山俊明（前監事）、寒河江良三（前監事）

### （欠席者）

- 理 事： 安達 亨、小林 公、菅原眞一、佐藤 学  
監 事： 佐川 馨

### （列席者）

- 長岡エンrollment・マネジメント部長、大沼校友会事務局長、黒沼校友会事務局次長、  
田辺係員、富樫係員

議事に先立ち、小山学長から自己紹介と第2期中期目標期間における本学の業務実績に関する評価結果がトップクラスであったこと等について挨拶があり、次いで、出席された理事・監事から、順次自己紹介があった。

### （議題）

- 1 校友会副会長の選出について  
議長から本件について提案があり、規定に基づく選出方法について説明の後、副会長2人にはふすま同窓会選出の野村一芳理事に引き続きお願いするとともに、新たに、理事として長年尽力いただいている医学部選出山川光徳理事にお願いしたい旨提案があり、承認された。

## 2 校友会専門委員会委員の選出について

議長から本件について提案があり、専門委員会の任務と選出方法について説明の後、資料 2 のとおり野村一芳理事(副会長)はじめ 7 人(再任 5 人、新任 2 人)にお願いしたい旨提案があり、承認された。

関連して、議長から、専門委員会の委員長は「委員の互選」となっており、本日の理事会終了後、専門委員会を開催して決定していただく旨説明があった。

## 3 平成 28 年度事業報告、収支決算及び監査報告について

議長から本件について提案があり、事務局から、「平成 28 年度事業報告」及び「平成 28 年度収支決算書(案)」について資料 3-1、資料 3-2、資料 3-3 及び資料 4 に基づきおおむね次のような説明があり、引き続き、丸山前監事から監査報告(資料 5)があった。

(内容)

- (1) 本件は、去る 5 月 31 日開催の校友会専門委員会で審議された内容である。
- (2) 資料 3-1 は、支援事業 27 件の実施結果について各機関から報告されたもの(資料 3-3)を「平成 28 年度校友会事業の実施状況一覧」としてとりまとめたものである。
- (3) 資料 3-1 において、整理番号 1、2、15、22 及び 24 の 5 事業はすでに終了したのものとして本年 2 月開催の校友会理事会に報告済みであるが、整理番号 15 は未実施、整理番号 1 と 24 の事業は使用済額に一部誤りがあったため、本日、金額を訂正し改めて報告する。
- (4) 今回の報告分から各事業の達成度評価について 5 段階による自己評価の項目を設けるとともに、それぞれの事業に対する専門委員会の所見等も記入されているので確認いただきたい。
- (5) なお、5 段階達成度評価のうち「⑤」と自己評価された整理番号 3、9、11、13、14、16 及び 18 の 7 事業の概略と、整理番号 3、8、21 及び 23 の 4 事業が予算額をオーバーした理由について報告したい。
- (6) 資料 3-2 は「写真で紹介する平成 28 年度支援事業一覧」として、それぞれの事業の特徴を表わす 1 枚の写真で紹介したものである。
- (7) 平成 28 年度収支決算(資料 4)において、収入は一般会員の新規加入者が予定よりも少なかったこと等もあり 523 千円程の減となった。
- (8) 平成 28 年度事業費として 25,400 千円を予算化したが、最終的には 3,424 千円程の執行残が生じた。
- (9) 運営費については決算額が予算額を上回る項目もあったが、総額 3,630 千円の予算に対して全体では 110 千円程の執行残が生じた。
- (10) 平成 29 年度への繰越額は 6,212 千円となり、前年同期の約半分となる。

説明の後、議長から本件について諮られた結果、原案どおり承認された。

## 4 平成 29 年度事業計画及び収支予算について

委員長から本件について提案があり、事務局から、「平成 29 年度事業計画一覧及び事業採択(案)」、「平成 29 年度事業計画書(個別申請事業)」及び「平成 29 年度収支予算書(案)」について、資料 6-1、資料 6-2、資料 6-3 及び資料 7 に基づきおおむね次のような説明があった。

(内容)

- (1) 平成 29 年度の申請件数は、継続事業 19 件及び新規事業 15 件の合計 34 件で申請総額は 41,034 千円となっている。
- (2) なお、全 34 件の申請事業のうち校友会が主体的に取り組む継続事業 5 件及び新規事業 3 件が含まれている。
- (3) 事業計画の採択に当たっては、資料 6-3 の「校友会事業の検討に当たっての基本方針」に基づき、去る 5 月 31 日開催の校友会専門委員会において審議された。
- (4) 本年 2 月開催の理事会において平成 29 年度継続事業として優位性を認めた「新入生保護者の皆さまと山形大学との交流会」事業は、期日までに申請がなく審査外とした。
- (5) 事業採否の審議のため、去る 5 月 31 日開催の校友会専門委員会での意見等を踏まえ、それぞれの事業毎に申請額、前年度予算額及び採択額案等について資料 6-1 のとおり整理したものである。
- (6) 継続事業として認められた 19 件の採択金額は、前年度の実績等も勘案し原則 10%減として資料 6-1 のとおり算出したものである。
- (7) 新規に申請された事業 15 件については、事業の該当区分と事業の妥当性等を十分精査し、番号 20、21、23、25、28、29、32 及び 34 の 8 事業採択し、資料 6-1 のとおり採択金額を算出したものである。  
なお、番号 22、24、26、27、30、31 及び 33 の 7 事業は不採択とする。
- (8) 「博士課程学生研究発表奨励事業（番号 4）」については、大学院理工学研究科と大学院医学系研究科の共同申請として取り扱った。
- (9) 「ビーチサッカー大会 in 庄内（番号 20）」と「首都圏及び大学主催合同企業説明会参加比較支援事業（番号 21）」及び「卒業生と大学・学生との連携推進事業（番号 23）」は昨年度で 5 年間の継続事業が終了し、今回改めて新規事業として申請されたものである。
- (10) 今年で 5 回目となる「山形大学卒業生講演会（番号 15）」は、農学部鶴窓会様との共催として実施する。
- (11) 『校友会「学生幹事」による校友会 P R と自主的な活動支援（番号 34）』では、今年度から導入された「学生幹事」の活動に大いに期待したい事業である。
- (12) 平成 29 年度予算については、「収入の部」は会費収入として学生会員と一般会員 30 人分を見込み 19,900 千円とし、繰越金 6,212 千円と合わせ総額 26,114 千円としたい。
- (13) 「支出の部」の事業費欄は、「大学への支援事業」と「校友会事業」に区分して表記する。
- (14) 平成 29 年度の採択件数は、校友会の主体事業として継続事業 5 件及び新規事業 2 件を含む継続事業 19 件及び新規事業 8 件の合計 27 件とし、事業費の総額(含む予備費)は 19,900 千円としたい。
- (15) 前年度から半減した繰越分を考慮し、事業費は前年度予算から 5,500 千円減の 19,900 千円、運営費は前年度から 500 千円減の 3,130 千円とし、支出総額は前年度から 6,000 千円減の 23,030 千円としたい。

説明の後、議長から本件について諮られた結果、原案どおり承認された。

- 5 校友会大学院学生表彰に関する申合せの一部改正及び表彰者の選考基準等について  
議長から本件について提案があり、事務局から資料 8-1、資料 8-2 及び資料 8-3 に  
基づき本申合せの改正点及び選考基準の考え方等について、おおむね次のような説明  
があった。

(内容)

- (1) 申合せの一部改正の主旨は、表彰の基準（第 2 条）における学会の規模をより  
明確にするとともに、被推薦者に係る業績を該当する項目順に作成するよう統  
一したものである。
- (2) 前回の理事会において、「表彰の対象範囲を学部学生にも広げては」との意見  
を受け、本日はその取り扱いについて検討するものである。
- (3) 大学院学生表彰制度が導入された経緯と過去 3 年間の表彰実績並びに学部学生  
に対する学長表彰の現状等を踏まえ、今後の対応等については資料 8-2 のとおり  
としたい。
- (4) 資料 8-3 のとおり、当該年度の表彰者は大学院学生現員数の 1 %程度（15 名  
以内）を基本とし、それぞれの研究科等の選考枠を基本として校友会専門委員会  
において表彰者を決定したい。

説明の後、議長から本件について諮られた結果、申合せの一部改正は原案どおり承  
認され、大学院学生表彰に係る今後の対応等についても次のとおり承認された。

(決定事項)

- イ 学部学生に対する表彰の現状等も踏まえ、当面、大学院学生を対象とするこ  
れまでの方針は変更しない。
- ロ 大学院学生表彰制度【校友会長賞】は、受賞者に表彰状と奨励記念品 5 万円  
を贈呈することを継続する。
- ハ 学術研究活動において顕著な業績を挙げたと思われる大学院学生について  
は、従前どおりそれぞれの研究科等から順位を付して推薦できるものとする。
- ニ 校友会配分予算を考慮し、当該年度の受賞者は大学院学生現員数（毎年 5.1  
現在）の 1%程度（15 名以内）とし、受賞者を決定する校友会専門委員会は資  
料 8-3 の方針を基本として運用を図るものとする。

- 6 校友会設立 10 周年記念「校友会のシンボルネーム又は愛称募集」事業の選考結果  
に伴う今後の対応について

議長から本件について提案があり、事務局から資料 9 に基づき本事業の実施概要等  
について、おおむね次のような説明があった。

(内容)

- (1) 本件は校友会設立 10 周年記念事業の一つとして実施したものであり、資料 9  
のとおり校友会ホームページ等を通じて、本学の学生及び卒業生等を対象に広  
く募集したものである。
- (2) 延べ 17 作品の応募があったが、「最優秀作品賞」の該当者はなく「優秀作品賞」  
として 3 名の学生が選ばれ、その選考結果は校友会のホームページにおいてす  
でに報告されている。
- (3) 今回の選考結果を踏まえ、本年 2 月開催の理事会では今後の取り扱いについて  
質疑が出され、本日はその対応についてお諮りすることとしたい。

説明の後、議長から本件について諮られた結果、今後の対応等について次のとおり承認された。

- 「校友会のシンボルネーム又は愛称募集」は今回の記念事業で一旦終了とし、しかるべき時期（例えば、校友会設立 20 周年記念事業など）において、改めて検討する。

## 7 各学部から選出された校友会「学生幹事」について

議長から本件について提案があり、事務局から資料 10 に基づき校友会「学生幹事」の導入経緯等も含め、おおむね次のような説明があった。

- (1) 昨年に校友会設立 10 周年を迎え、校友会に「学生幹事（各学部 2 名ずつの計 12 名）」を配置することとし、本年 4 月末までに当該学生の推薦を依頼していたものである。
- (2) 学生幹事には、校友会会員である山大生に校友会諸活動の広報はじめ校友会の事業運営等にも参画してもらうことにより、学生のさまざまな声を反映できる仕組みを作ることを目指したものである。
- (3) 校友会支援事業として「学生事業活動枠」を新たに設定し、学生が企画段階から最後まで一貫して取り組めるようにしたい。
- (4) 各学部から推薦のあった学生幹事は資料 10 のとおりであり、学生幹事の皆さんを本日の理事会の席上において紹介したい。
- (5) 本日の理事会終了後、学長室において小山庄長から学生幹事一人ひとりに委嘱状を交付するとともに、その後簡単なミーティングを予定している。

説明の後、議長から本件について確認願いたい旨述べられ、了承された。

(※ 理事会の席上、学生幹事 9 名から自己紹介が行われた。(その後退席))

## 8 その他

### (1) 平成 29 年度山形大学 OB & OG セミナーの開催について

議長から本件について報告したい旨発言があり、事務局から、参考資料 11 に基づき、本年度に開催セミナーの概要について次のような説明があった。

(内容)

- ① 本セミナーは今年度で計 13 回を数え、卒業した学部を離れ関東地域に住んでいる卒業生 OB & OG が一堂に会して懇談できる絶好の機会になっている。
- ② 昨年度の山形大学 OB & OG セミナーの開催状況については、東京ふすま会のホームページ（別添資料のとおり）で紹介されていたのでご覧いただきたい。
- ③ 今年度は例年どおり平成 30 年 3 月の第一土曜日に開催し、会場は昨年に続き、山大東京サテライトから近い「グランパークカンファレンス大会議室」を予定している。
- ④ セミナーの講師には、江頭宏昌教授（農学部担当）と松本大理准教授（地域教育文化学部担当）の二人から内諾を得ている。
- ⑤ 今年度のセミナーでは、お二人の講演に加え現役学生の活動報告（2 名程度の適任者選考中）のコーナーを設ける予定である。
- ⑥ セミナー会場では、昨年に引き続き山形大学オリジナルグッズや出版本の販売をより盛大に行いたい。

(2) 平成29年度校友会関係年間スケジュールについて

議長から本件について報告したい旨発言があり、事務局から、参考資料12に基づき、主な年間スケジュールについて説明があった。

(3) その他

特になし。

最後に、議長から、次の2点について説明があった。

- ① 次回の理事会は平成30年2月中旬開催を予定している。
- ② この理事会終了後、校友会専門委員会を開催するのでよろしくお願ひしたい。

配付資料一覧

- 校友会理事会 席次
- 校友会理事会（第22回）次第

[資料一覧]

- 資料 1 校友会理事・監事一覧（H29.6.27 現在）
- 資料 2 校友会専門委員会委員（案）
- 資料 3-1 平成28年度事業報告一覧  
（事業達成度の自己評価及び専門委員会の所見等を含む。）
- 資料 3-2 写真で紹介する平成28年度校友会支援事業一覧
- 資料 3-3 平成28年度事業報告書（個別事業毎）
- 資料 4 平成28年度収支決算書（案）
- 資料 5 平成28年度監査報告書
- 資料 6-1 平成29年度事業計画一覧及び事業採択（案）  
（H29.5.31 開催校友会専門委員会における審議結果を含む。）
- 資料 6-2 平成29年度事業計画書（個別申請事業毎）
- 資料 6-3 校友会事業の検討に当たっての基本方針
- 資料 7 平成29年度収支予算書（案）
- 資料 8-1 「山形大学校友会大学院学生表彰に関する申し合わせ」の一部改正（案）
- 資料 8-2 校友会大学院学生表彰制度【校友会長賞】について
- 資料 8-3 校友会大学院学生表彰者の選考等に関する資料
- 資料 9 校友会設立10周年記念「校友会のシンボルネーム又は愛称募集」  
事業の募集案内及び選考結果報告
- 資料10 平成29年度山形大学校友会「学生幹事」名簿及び関連資料
- 資料11 平成29年度（第13回）山形大学OB&OGセミナーの概要
- 資料12 平成29年度校友会の年間行事スケジュール

[参考資料]

- 1 山形大学校友会会則
- 2 山形大学校友会専門委員会規程
- 3 校友会理事会第21回（H29.2.15）議事録（前回）
- 4 校友会専門委員会第23回（H29.5.31）議事録（前回）
- 5 その他校友会に関する広報資料等
  - 校友会入会案内 2017年6月発行
  - 「山形大学校友会」をご理解いただくために！！（Q&A）
  - 校友会メールマガジン「みどり樹通信」バックナンバー（参照）
  - 「校友会設立10周年記念事業」の実施概要（H29.3.31）
  - 校友会会報 No.8・設立10周年記念号〈2016年11月発行〉
  - 校友会会報 No.9〈2017年3月発行〉